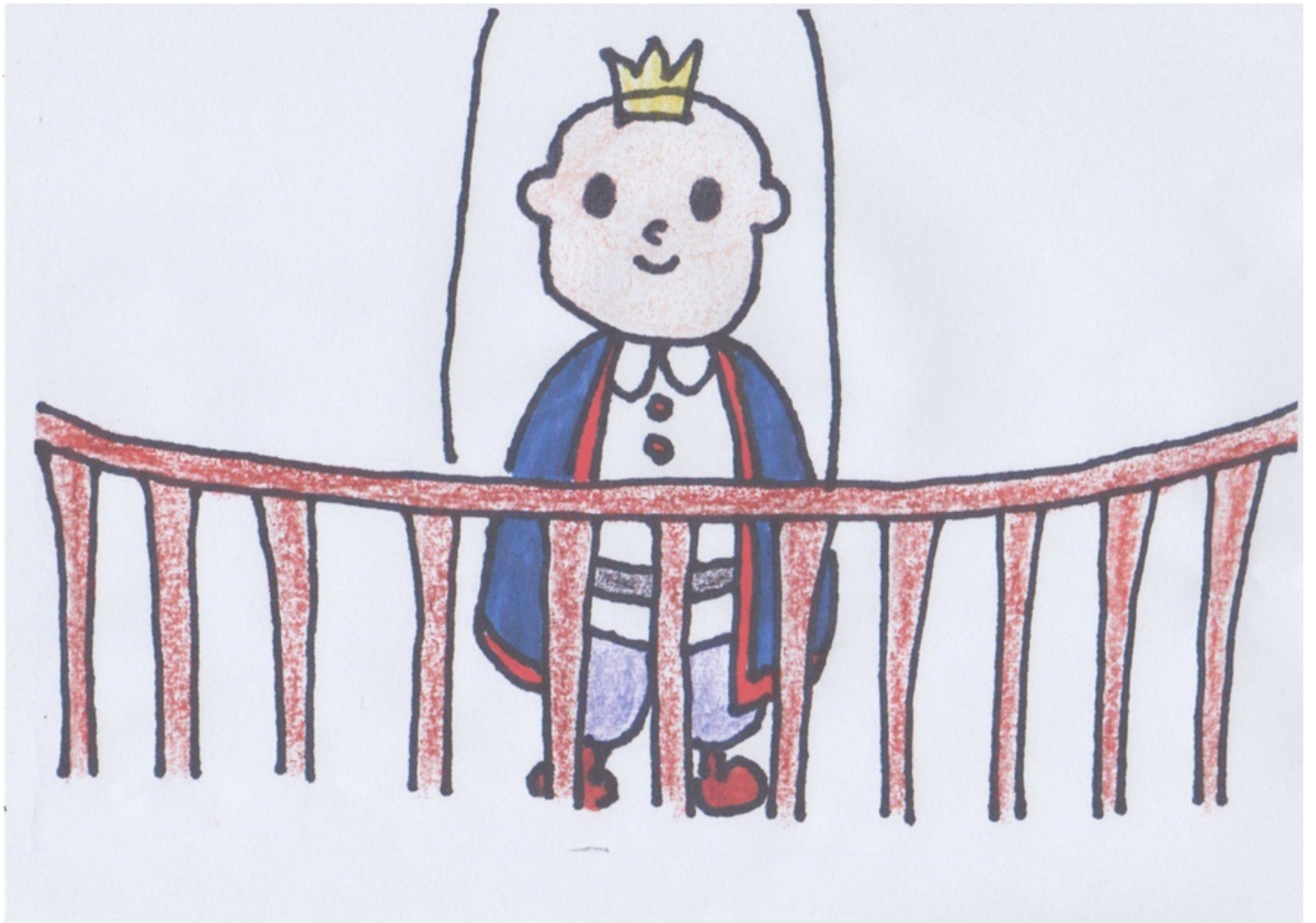
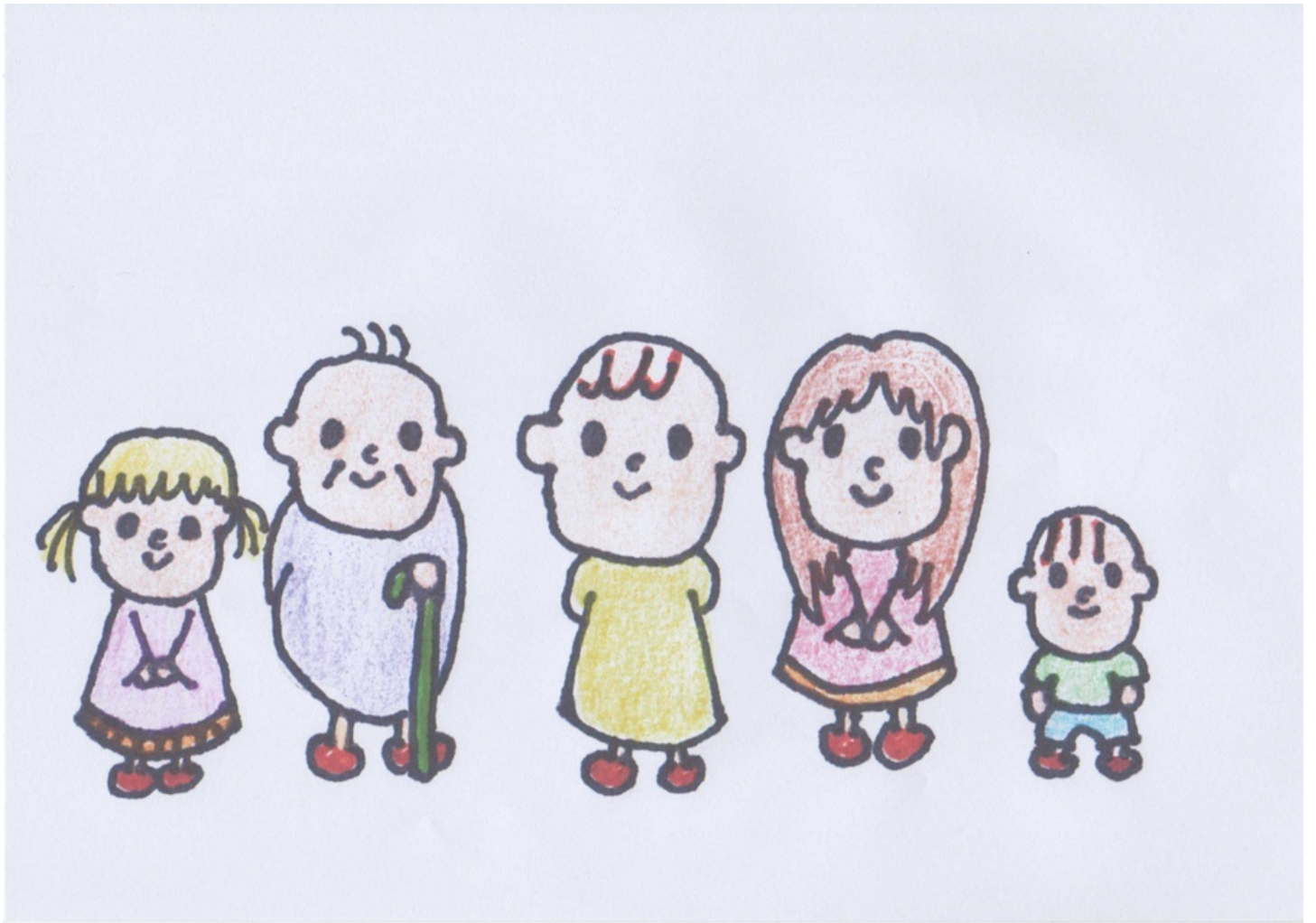


# ハイネ王子のおすれな王国

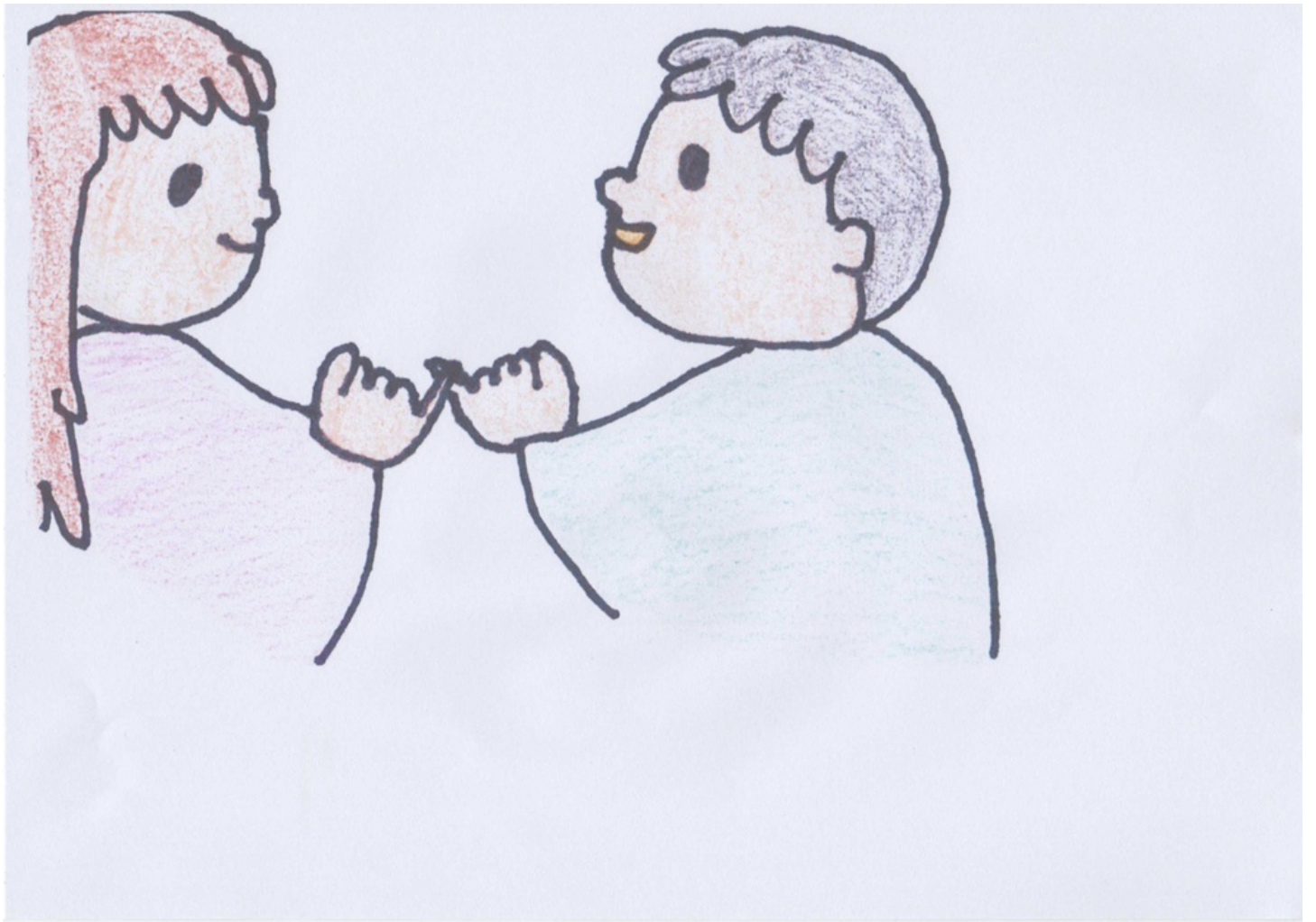




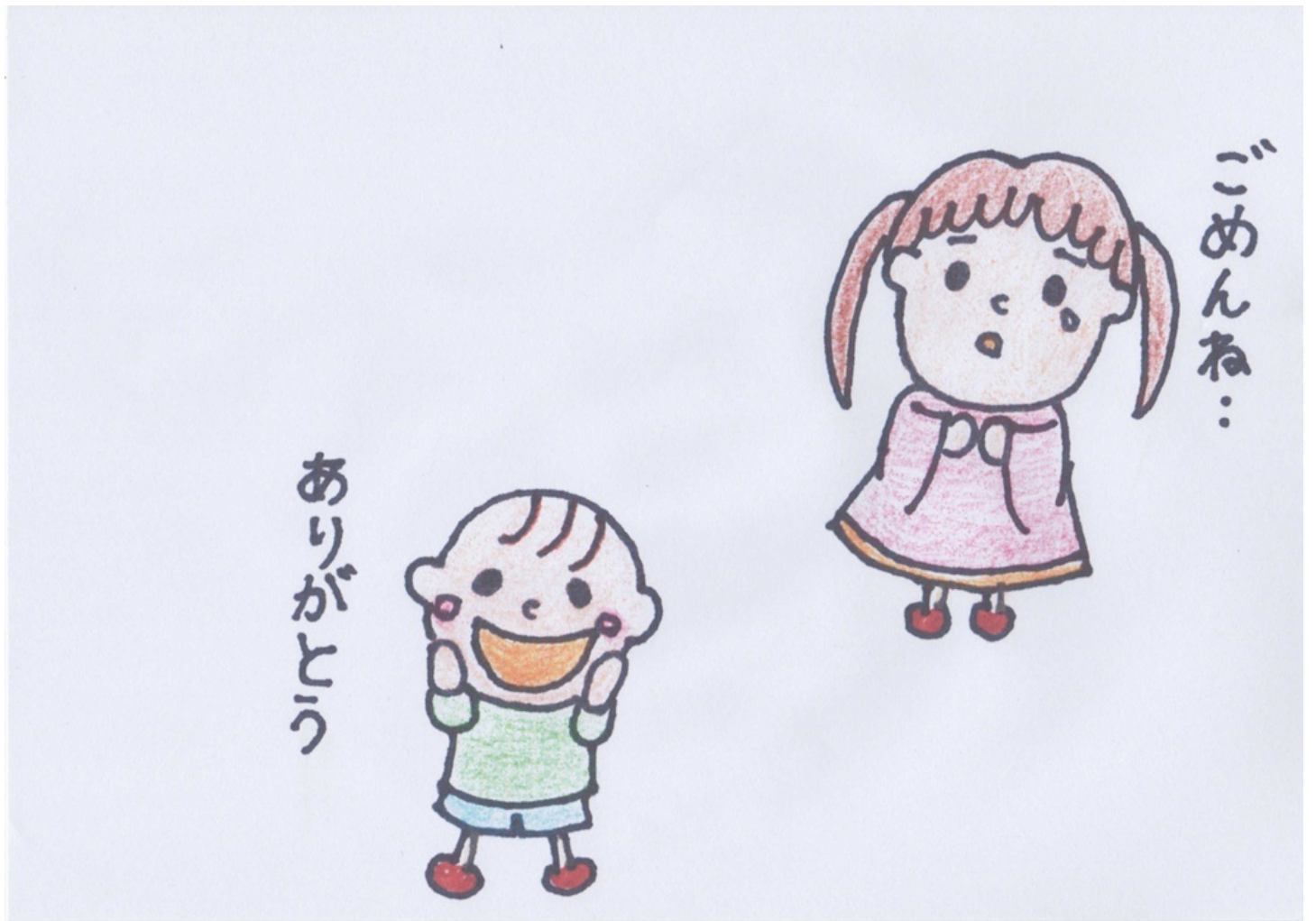
ここは わすれな王国。  
この国を守るハイネ王子。  
ハイネは いつも言う。  
「今日も一日 忘れずに」



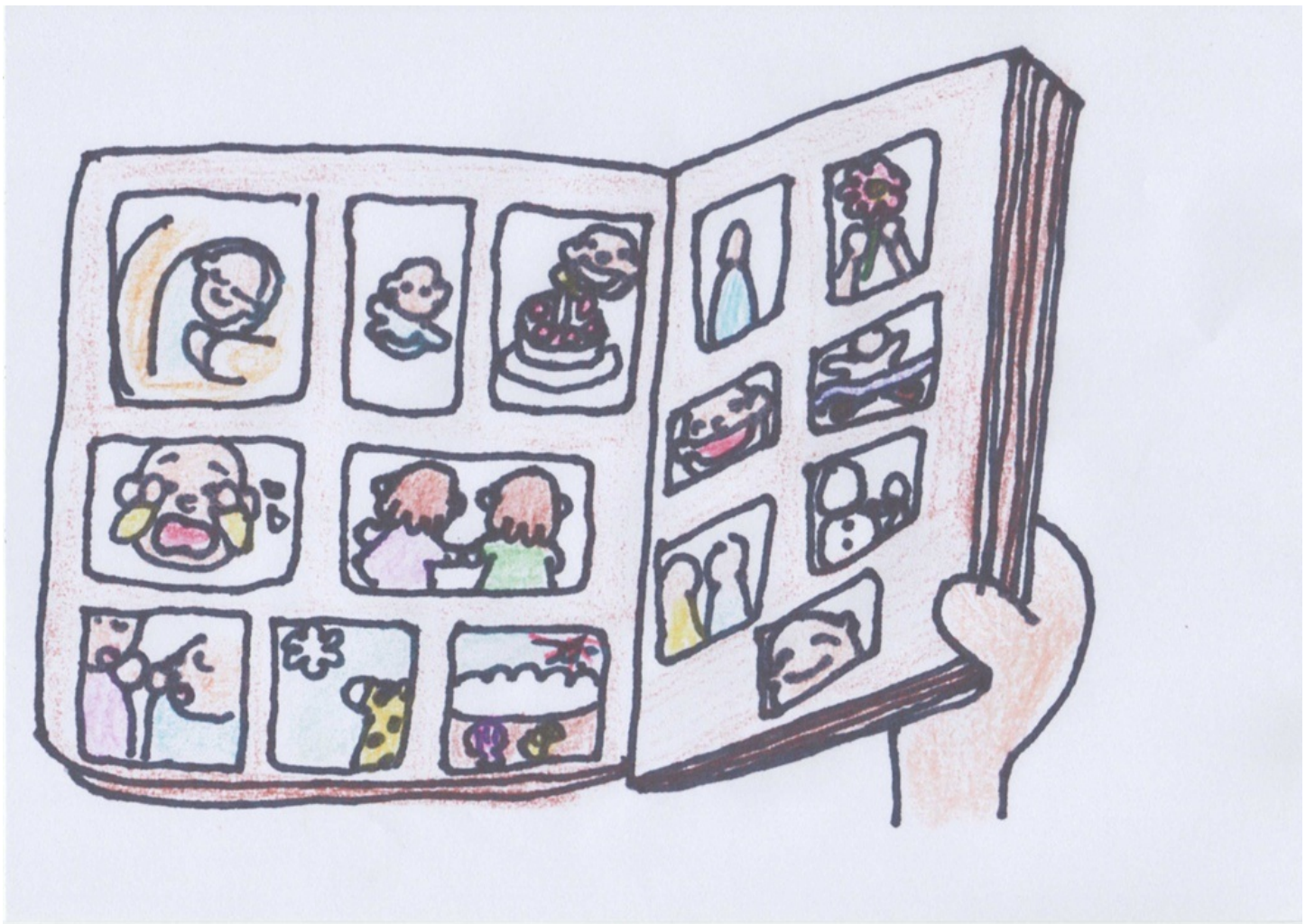
わすれな王国の人は  
わすれない。



約束を わすれない。



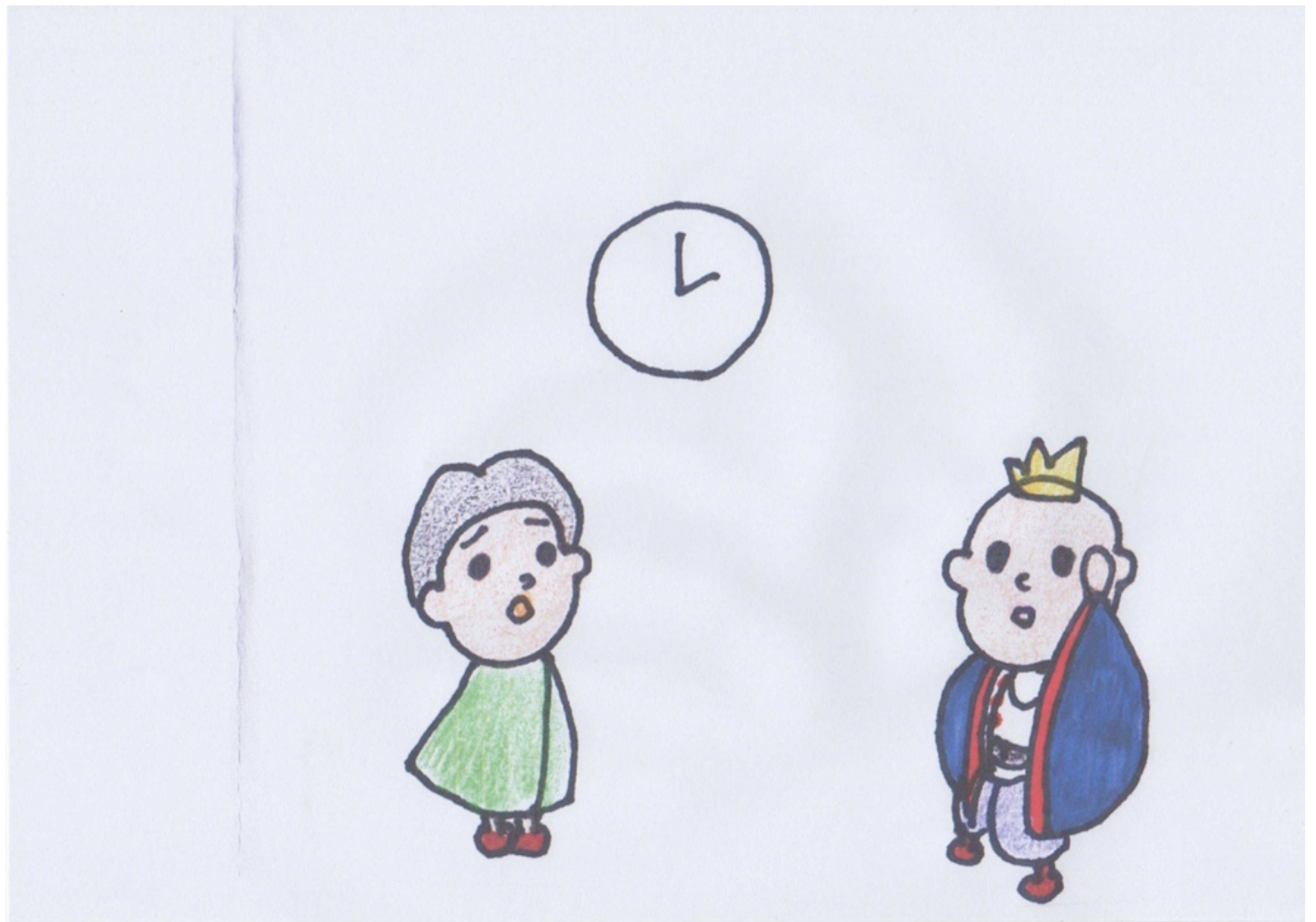
ありがとうを わすれない。  
ごめんねを わすれない。



そして  
思い出を わすれない。

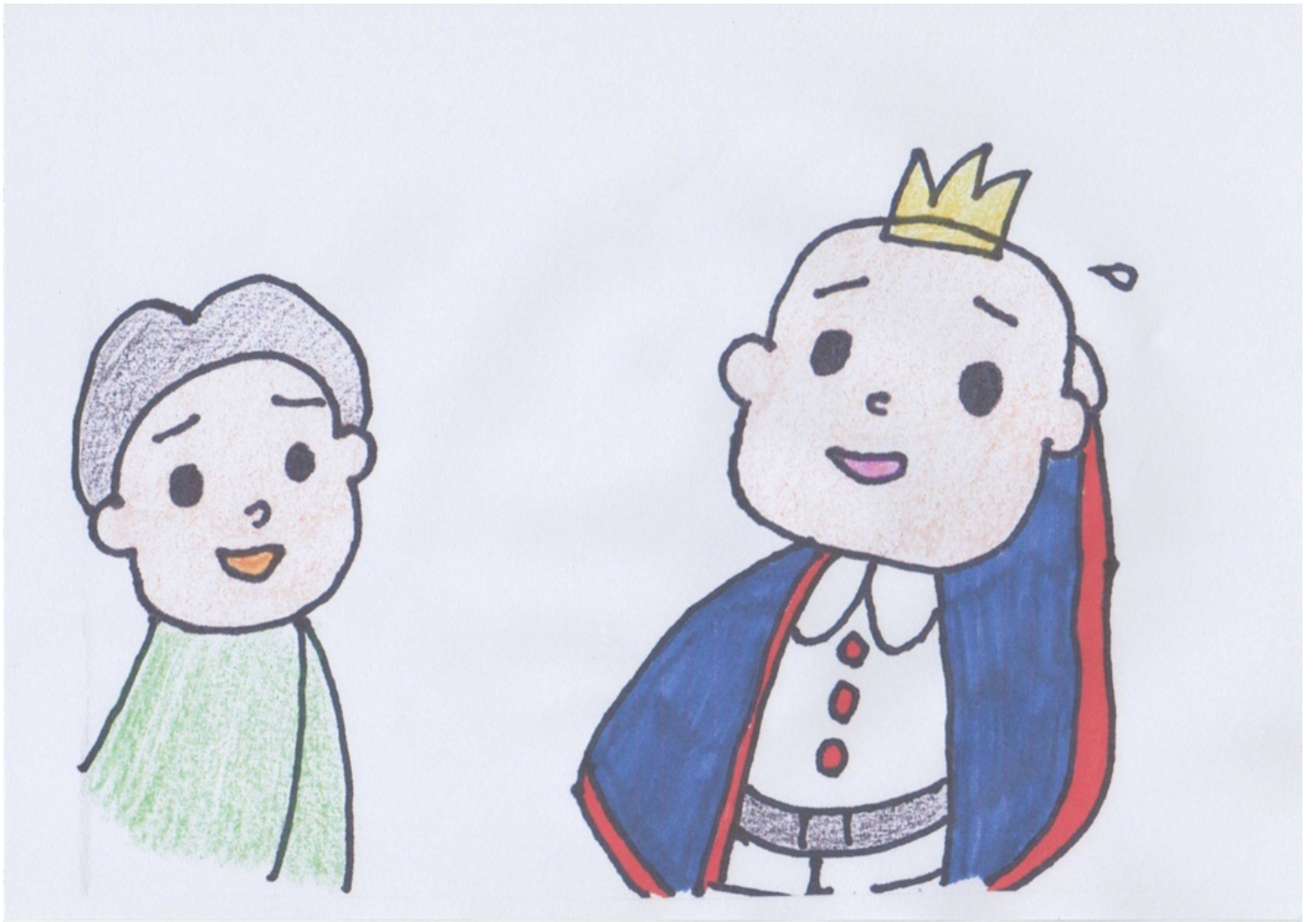


でも  
最近 なんだかハイネの様子がへん。

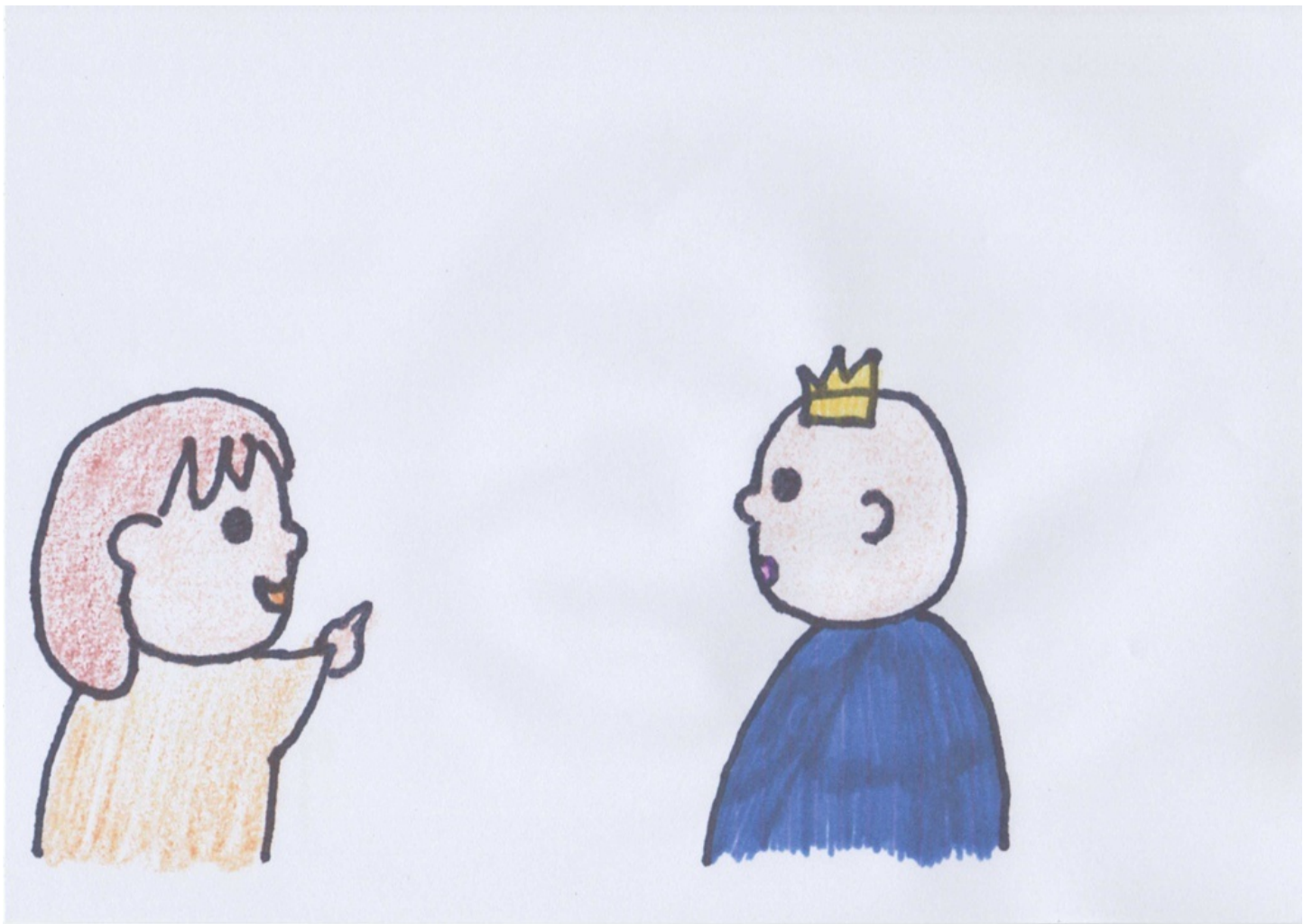


約束を すっかりわすれてしまう。



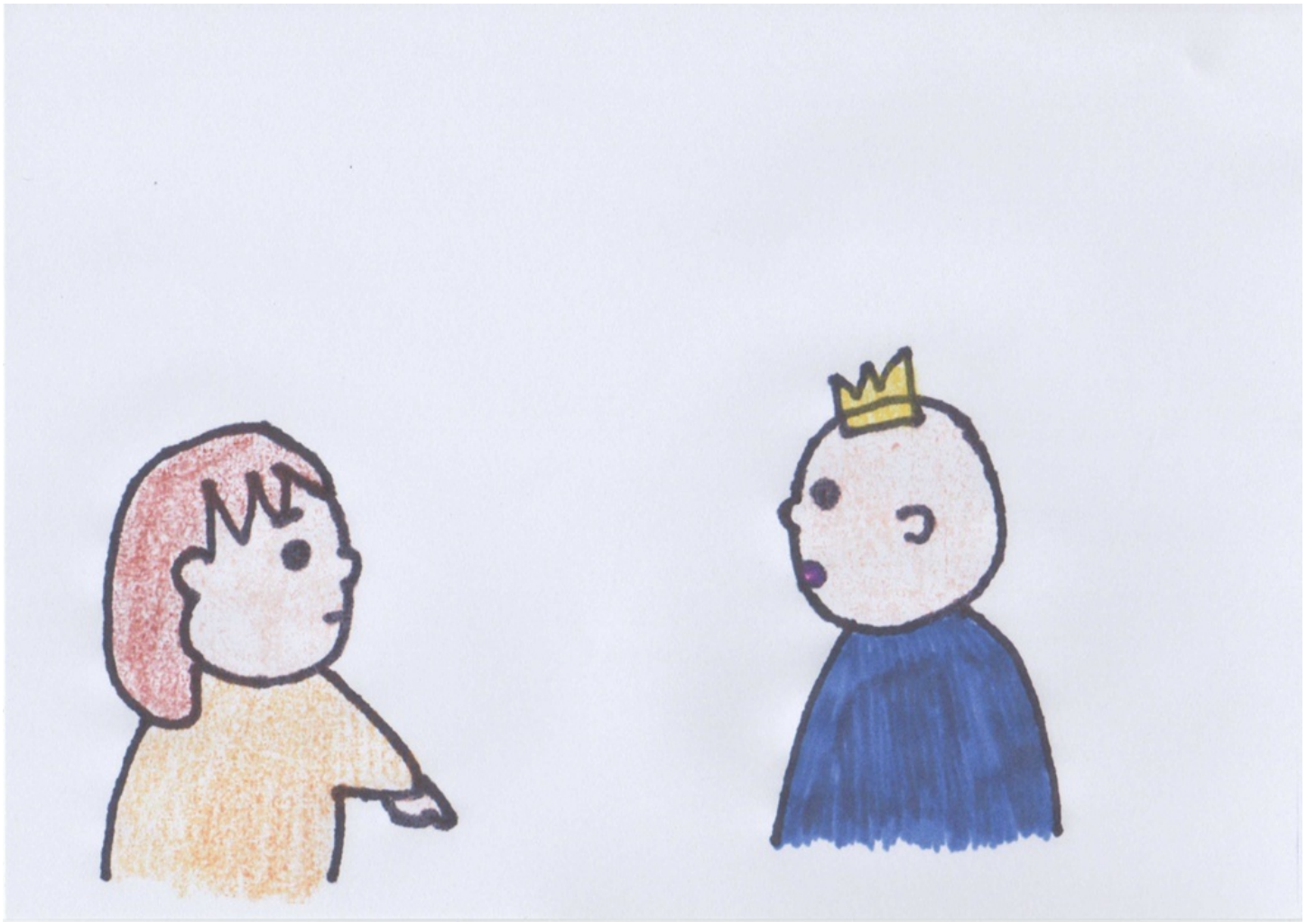


でも ごめんねは わすれなかった。

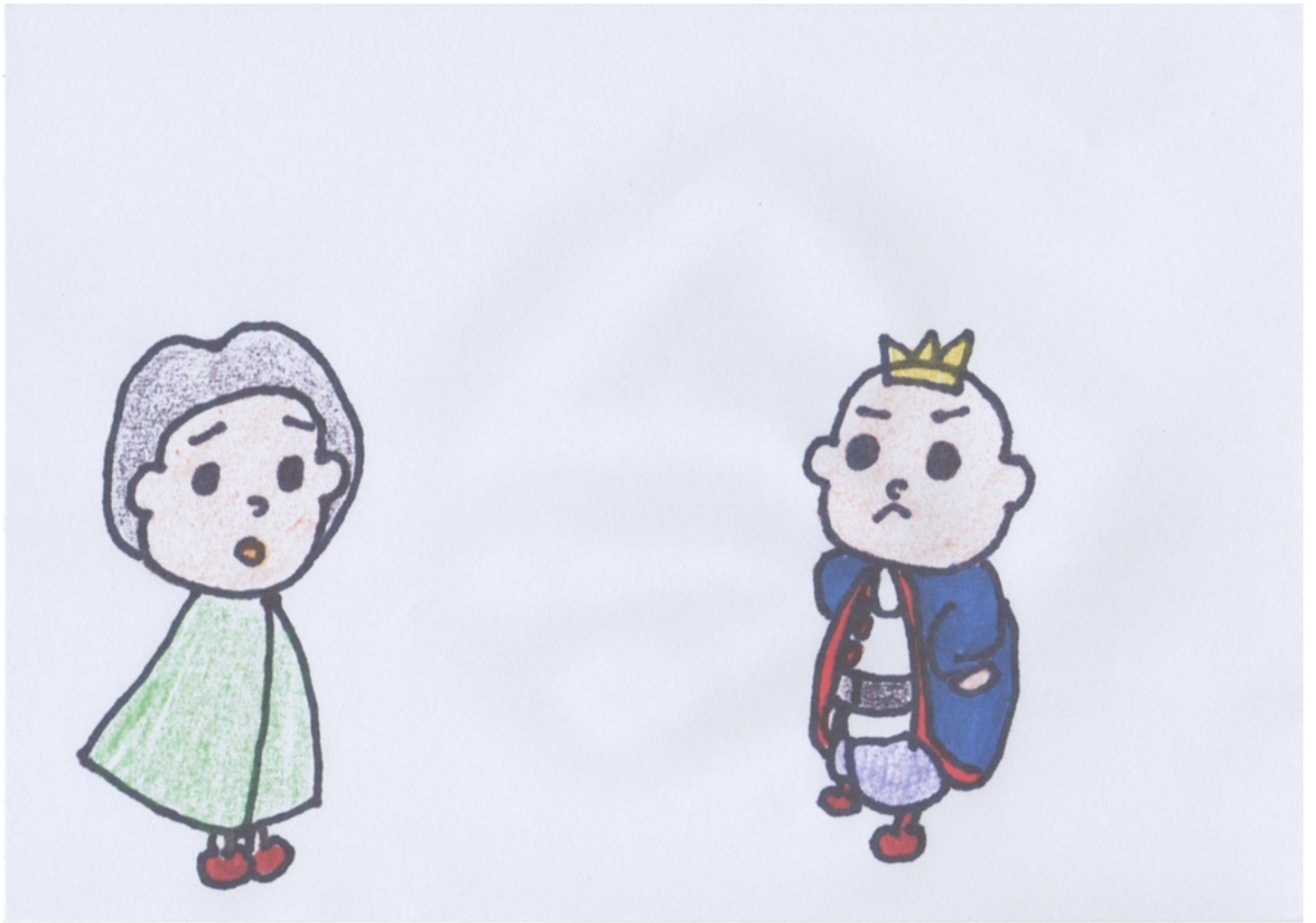


「ここで いっぱい遊んだね」

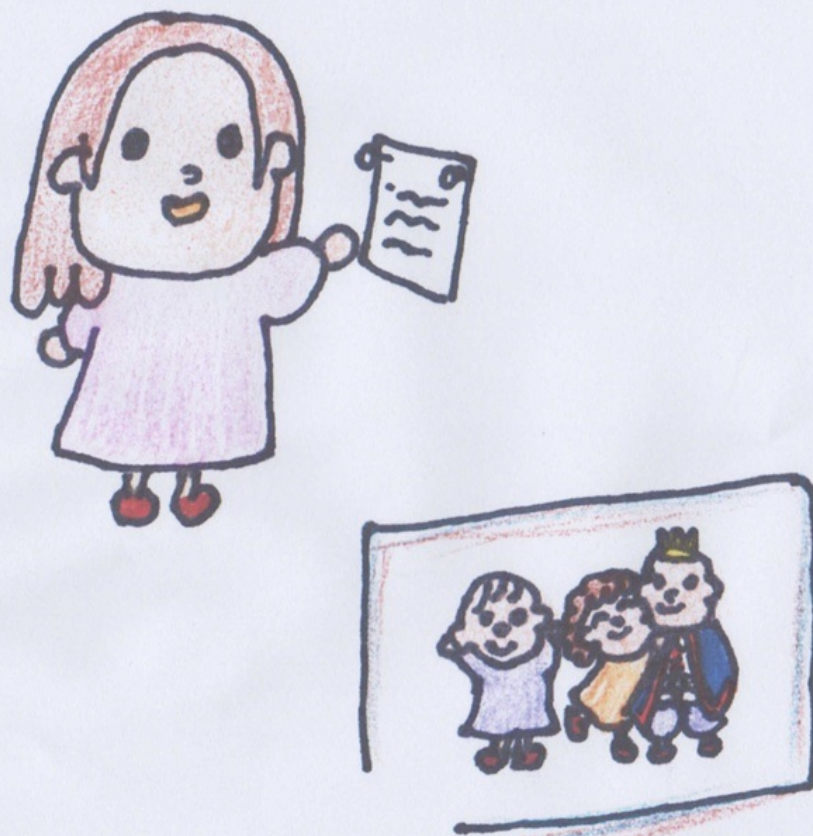
「ここは 初めてきたぞ」



思い出を わすれてしまう。



そして また約束をわすれてしまって  
「そんな 約束はしていない！」と怒って  
とうとう  
ごめんねも わすれてしまった。



みんなは考えた。  
ハイネがわすれないように  
約束をかいて はっておいた。  
一緒に遊んだら 写真をとった。



でもハイネは

「知らん、知らん！みんなで私をバカにしているのか！」

と やっぱり怒ってしまった。



だけどハイネはきづいていた。

知らないうちに  
わすれてしまうこと。

私はおすねます。  
みんなのことも  
おすねるでしょう。  
おぼえているうちに  
ごめんね  
ありがとう。

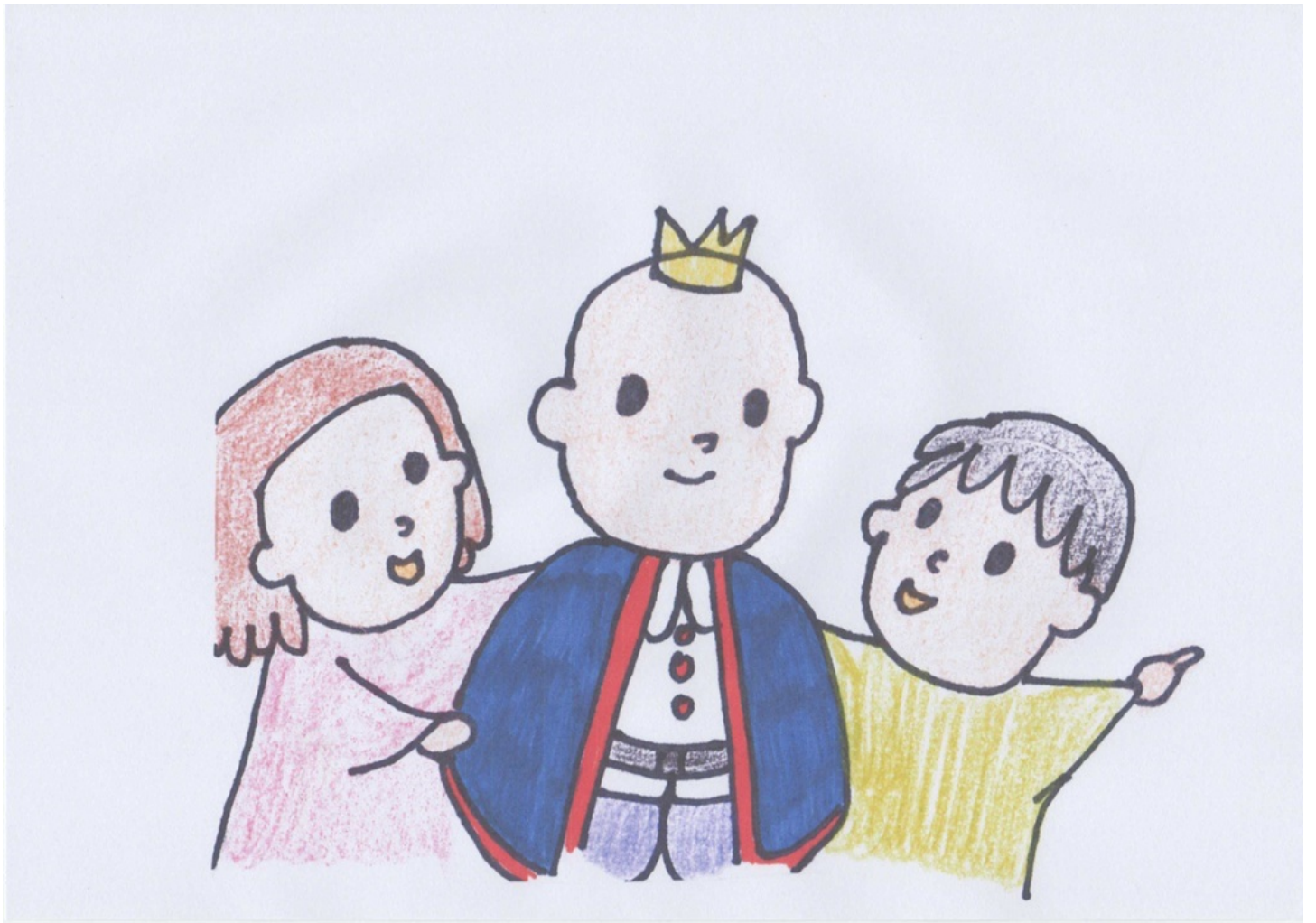
そしてハイネは  
わすれな王国を出ていった。





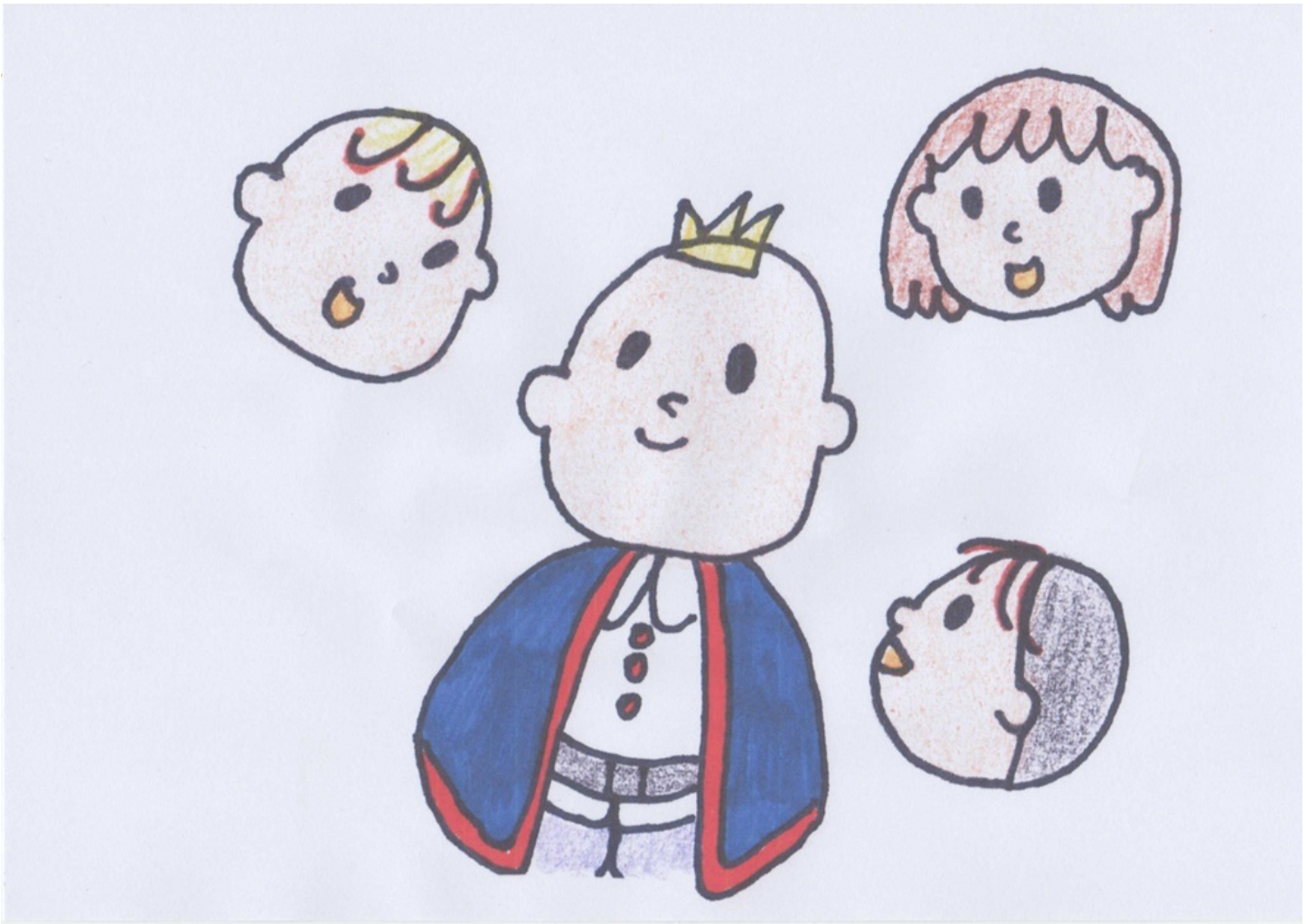
みんなは必死でさがした。  
ハイネはすぐに見つかった。

「となりのまちへの行き方を わすれてしまったよ」



「あなたのまちは こっちですよ」

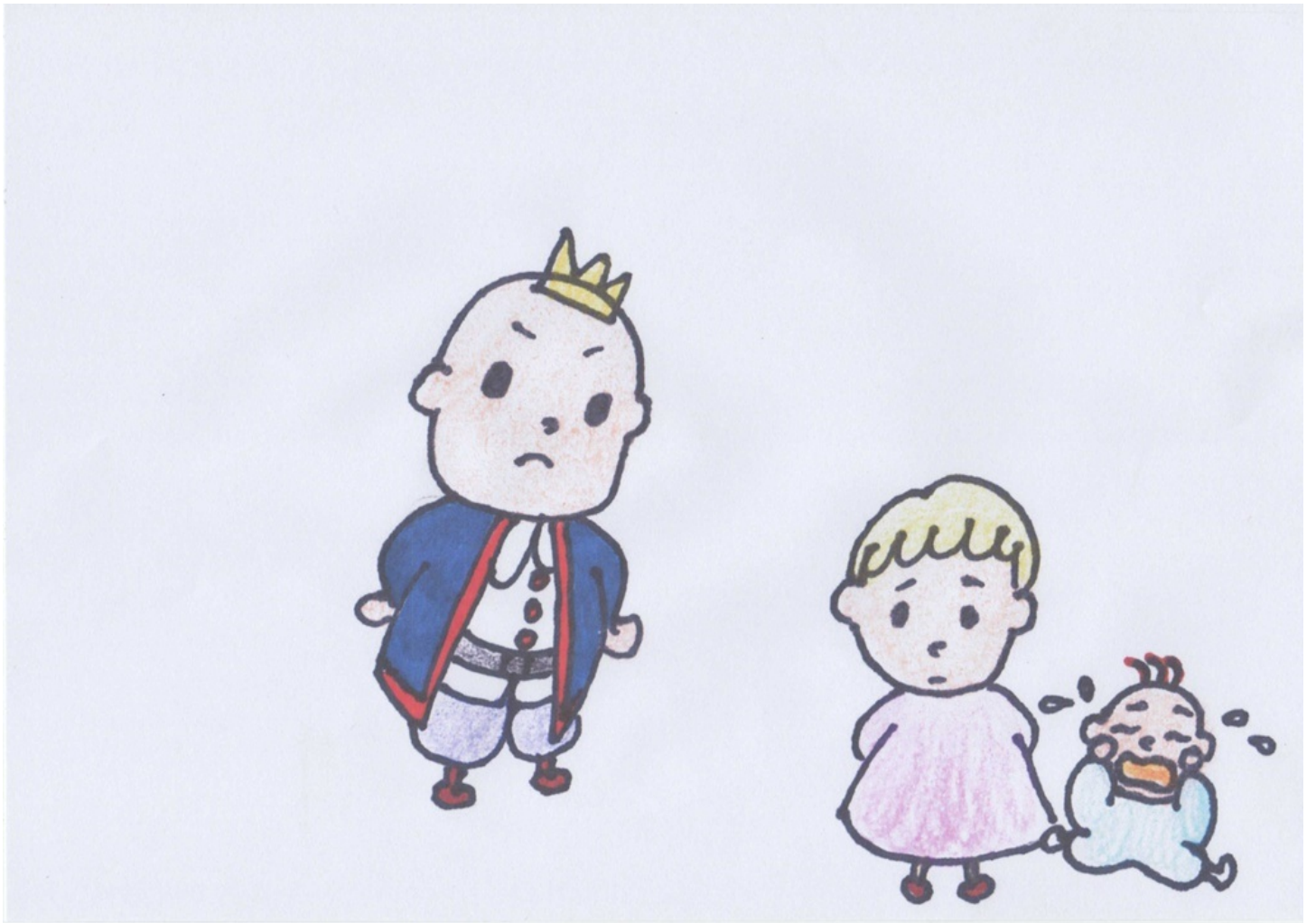
「あー、そうですか。ありがとう」



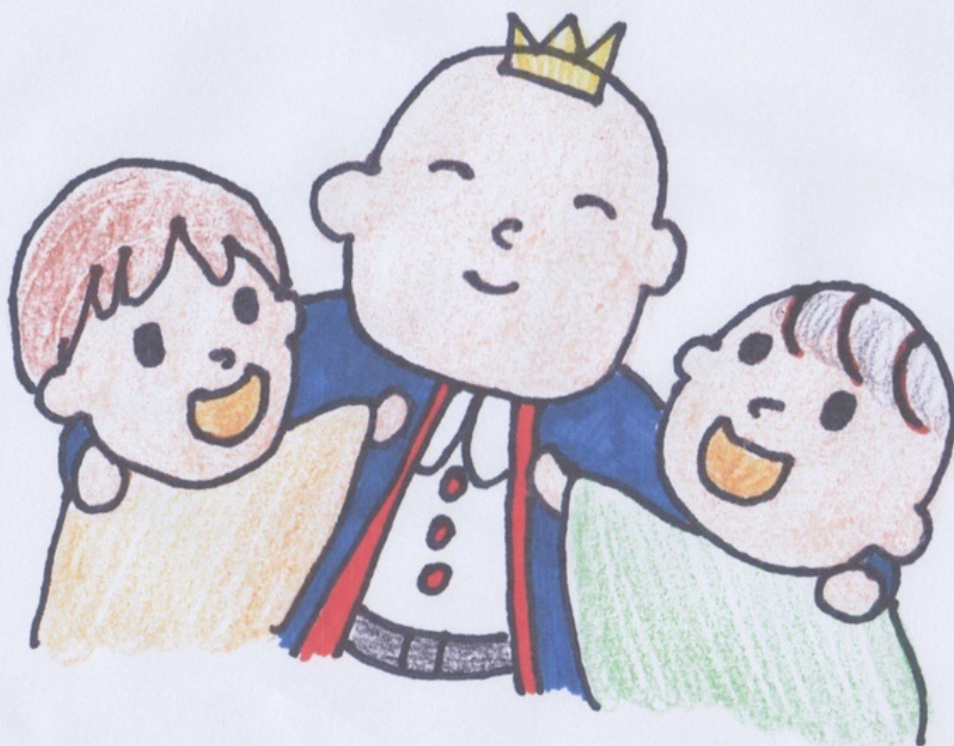
みんなはハイネにたくさんお話をしました。



ハイネが  
赤ちゃんの名前をつけてくれたこと。

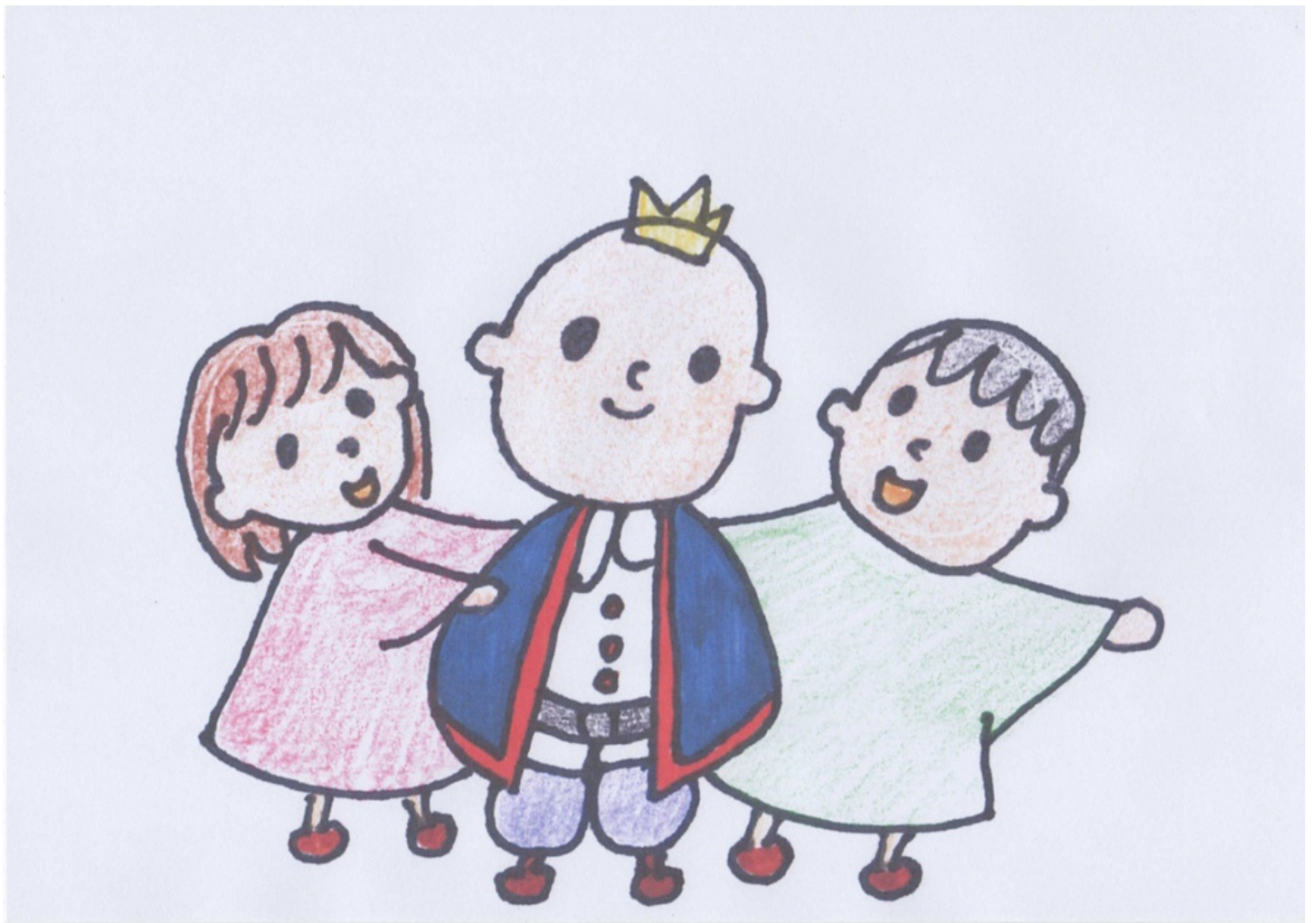


悪いことをして  
しかってくれたこと。



一緒にたくさん遊んで  
笑ったこと。

それから  
みんな思い出させることはやめました。  
みんながわすれないでいようと決めました。



ハイネはわすれてもいいのです。

ハイネのことは全部

私たちがわすれないのです。

「さあ お祝いですよ」

「今日は 何の日だ？」

「王子の誕生日ですよ」

